

記録集の発刊にあたって

小林 紘一

慶應義塾大学医学部呼吸器外科教授

日本肺癌学会編集委員長

肺癌学の進歩発展を担うべき基幹学会としての日本肺癌学会は年一回の総会および各支部での学術集会を開催しております。また日本肺癌学会肺癌ワークショップ、肺癌集検セミナーおよび肺癌診断会・画像診断セミナーの三つをそれぞれ年一回ずつ開催してきました。これらはそれぞれの集会の世話人を決めて、その領域の最新の情報の交換や問題点についての議論を行ってきました。平成14年度にそれぞれ第17回、第18回および第28回を終了しております。それぞれの集会が抄録集や記録集を作成してきましたが統一性が取れていませんでした。また関心があっても幾つもの集会に出席することは時間的にも、経済的にも負担が掛かることも事実です。このようなことを踏まえ数年前より理事会でこの三つの集会の内容を一冊に纏め、肺癌に関する up-to-date の知識を少しでも早く、多くの会員に提供できるようにしてはとの意見が出され本号の発刊に至りました。

学会員一同が研鑽を積んで肺癌の予防、早期診断、肺癌治療が進歩し、肺癌に悩む患者さんにより良い治療ができるよう努力したいと思います。毎年発行される記録集がその参考になればと願っております。

またこの度、この記録集を発刊するにあたってご尽力頂きました世話人の先生方に深く御礼を申し上げます。